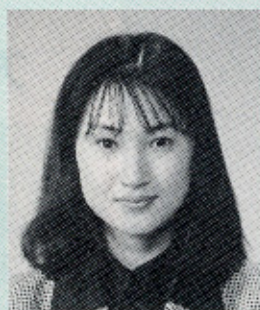


同窓生だより

活躍する卒業生

学校法人 河合塾 稲村智奈美



社会人になって4年目になります。仕事に関する知識も増え、仕事の面白さを感じるようになりまし。1、2年目は、仕事を覚えることに精一杯で、ただ慌ただしく1日が過ぎていきましたが、最近では気持ちに余裕が出来、落ち着いた毎日を送っています。

現在、中部地区塾生部教務担当に所属しています。中でも英語科を担当しており、学期、講習ごとの時間割作成、講師への授業依頼、パンフレット作成などをしています。また、100人〜150人の浪人生のクラスを2〜3人の職員で担当し、進路指導もしています。教務担当の仕事は先生との関わりが多いため、個人個人の顔と名前を覚えるのは大変でした。また、仕事を円滑に進めていくためには、日頃からの先生とのコミュニケーションが大切なのですが、それができるようになるまでには、随分時間がかかりました。

2年前、「TOEFL対策講座」の開設が決まり担当となりました。この講座はカリフォルニア大学からの講師が担当のため、先生とは英語で話さなくてはなりません。英会話力にそれほど自信はありませんが、先生とのコミュニケーションを楽しんでいます。これも、大学2年の時に行った短期留学の経験のおかげだと思っています。

辛かったこともありますが、今まで仕事を続けてきて良かったなと思っています。色々な人たちから学ぶことは多く、その中で、今後もっと成長していきたいと思っています。

君の若き日に、君の造主を覚えよ

(90 E) 藤岡 彰

昭和61年3月6日岡山駅午前6時。この日は名古屋学院大学経済学部への入学試験を受ける為朝一番の新幹線に乗り込んだ。名古屋駅から中央本線高蔵寺駅迄行き、そこから当時の国鉄バスで大学校門前に降り立った。

これが、名古屋学院大学との最初の出会いであった。とても寒かった日と記憶しているが、校門から試験場の万有館迄のメインストリートを見ながら歩いてみると、綺麗で大学だ足非合格したい。と思った。受験終了後その日の内に岡山へ帰ったが、名古屋駅新幹線下りホームの看板に目を見張った。君の若き日に、君の造主を覚えよ。名古屋学院大学。この聖書からの一節は、今でも私の一番好きな言葉である。現在、出張で東京方面へ行く時名古屋駅を通過する度に母校の看板を見つけないと気が済まない。是非復活していただきたい。入学後は大抵熱心に大学へ通った方でしょうか。休み時間にキャンパスから眺めた伊勢湾これは格別だった。又、チャペルアワーは色々なお話が聞け役立った。今でもクリスマスが近付くと心が引締まるのは私だけでしょうか！岡山で生れ育ち、大学四年間を愛知で過ごし、再び岡山に居る為人並み以上に、愛知県下の楽しい話題に注目するようにしている。名古屋学院大学もミッションスクールという性格を積極的に活用し発展していただきたい！次に、在学時のゼミの中村至朗先生と仲間と再会し温泉に行きたい。又、情熱的に学問を教授して下さいました大勢の先生方、大学で巡り会った友人、下宿の先輩、後輩、岡山県出身のM先輩。皆様方には心から感謝させて頂きます。

最後に、今後の私の抱負は卒業式の日にもうった友校の中の葛井義憲先生が書かれた、「わが名古屋学院大学の香り」の中の、私は皆さんが社会に出ていった時、その社会の中で、この大学で学び付けられたよい香りを周囲にまき散らすようなそんな存在になってほしいと思います。(No.70より抜粋)を胸に歩み歩んで行きたいと思っています。

知的障害者更生施設建設に向けて

(79 E) 川崎純夫



私は経済学部を卒業しましたが、現在は畑違いの福祉の仕事をしておりです。

一般的に社会福祉は、人が人の生活の向上と発展を目指して共に生きるための援助を実践する事だと思えます。つまり、福祉とは特別な人が行う行為ではなく誰もが自分の出来る範囲で行う事であると思えます。

私の勤める福祉施設は、知的障害者更生施設で、利用者が寄宿生活をしながら社会自立を目指す施設です。日課の中に作業があり技能の習得はもちろんですが、社会適応できるように生活面の向上などを支援する仕事で、知的障害者の方と一緒に毎日楽しく生活させて頂いております。

愛知県の知的障害者更生施設(入所型)の数は、全国レベルから大きく遅れ、第45位(平成3年現在)と非常に低い水準です。その為450人以上の方が入所を希望していますが、自宅待機を余儀なくされているのが現状です。重い障害を持ち家で面倒を見ている方々の悩みは「障害を持つわが子の行き先を思うと死ぬにも死ねない」と切実なものがあり、改めて入所型の知的障害者更生施設の必要性が見直され、日も早い整備が望まれています。

私は、そのニーズに答えるため、愛知県小牧市が計画をしている「福祉の郷」構想に参画し、社会福祉法人あいち清光会(仮称)を設立し、知的障害者更生施設を平成11年に建設することになりました。建設予定地は小牧市大山で、土地については小牧市から5、300mを無償貸与を受け、現在急ピッチで造成中です。

建設には多額の建設資金が必要で、現在は資金集めに奔走する忙しい日々が続いていますが、在宅で困っている知的障害者の方の為に、何があっても完成させねばならないと思っております。

知的障害者更生施設建設にご賛同いただける方、福祉に興味のある方、また「福祉の郷」についてのお問い合わせは、お気軽にお電話下さい。

(0574)65-1737